



がっこう 学校だより

がっこう
3月号



**Challenge
Dream
Interaction**

れいわ ねん がつ か
令和2年2月28日
よこはま しりつがみい いだしょうがっこう
横浜市立上飯田小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamiida/>

こ そだ 子どもの育ち

こうちょう よこやまよしあき
校長 横山 美明

2月には、各学年で今年度最後の授業参観・懇談会が行われました。すでに参観された保護者の皆様は、お子様の成長した姿を見ることができましたでしょうか。家庭で毎日一緒にいると、我が子の成長にはなかなか気づきにくいものです。しかし、どの子どももこの1年を通して、いろいろな面で成長が見られました。4年生の「10歳を祝う会」では、これまでの成長を劇にしたり、一人ひとりが自分の得意なことを紹介したりと、今の自分のできることを一生懸命表現していました。また、6年生も小学校生活の集大成となる「卒業を祝う会」に向けての準備を進めていました。

私は、子どもの成長は6年間を1ステージと考えています。生まれてから6歳までが第1ステージです。この時期は、子どもが一人でできることはとても少なく、保護者をはじめとした大人の助けがとても必要です。次の第2ステージが7歳から12歳の小学生時代です。そして第3ステージが13歳から18歳の中高生時代です。2022年には成人年齢が18歳になることから、まさに第3ステージは子どもから大人にステップアップするステージと言えます。

第2ステージに当たる小学生時代は、一人でできることが一番増える時期だと感じています。ただ、その分、失敗したり、つまずいたりすることも多い時期であると言えます。また、人との関わりという点でも同じことが言えます。それまでは、家族や保育園・幼稚園の先生といった大人とのつながりがメインですが、小学生時代は、友達とのつながりがそれまでよりもずっと強くなり人間関係にも広がりが出てきます。もちろんそういった過程では、友達と喧嘩をしたり悩んだりもします。しかしそういった経験をしながら人との付き合い方を学び、人間関係について学習していきます。親としては、できれば順風満帆に成長を重ねてくれることを望むところではありますが、子どもにも子どもの世界があり、1年生には1年生なりの、6年生には6年生なりの悩みや人間関係があります。そういった中で失敗したり、うまくいかなかったりした経験を糧として子どもは成長してきています。

先ごろ亡くなられた野村克也さんも「『失敗』と書いて『せいちょう』と読む」という言葉を残しています。これからも失敗を恐れることなく、むしろそれをばねに大きく成長してほしいと思います。

保護者の皆様、地域に皆様には、今年度も本校の子ども達のためにご理解・ご協力いただき、本当にありがとうございました。次年度もよろしくお願ひいたします。